

器具器械（32）医療用吸引器
 一般医療機器 吸引器用キャニスター 34858000

YK サクションシステム II

再使用禁止

【警告】

1. 凝固剤の注入およびライナーの密閉処理を行う場合は、必ず吸引を継続した状態で行うこと。[吸引した排液が逆流する可能性がある]
2. 使用後はライナーの Patient ポートを確実に密閉すること。

【禁忌・禁止】

1. 本品を使用目的以外の用途には使用しないこと。
2. ライナーは再使用禁止。

【形状・構造及び原理等】

1. 概要

本品は、単回使用のライナーおよび再使用可能なキャニスターからなる。ライナーをキャニスターにセットした後、吸引源からの排気管をキャニスターに、患者側からの吸引管をライナーに接続することで排液（血液、体液、外科手術等で使用される洗浄液等）を吸引する。吸引終了後は、排液が密閉されたライナーのみ廃棄する。なお、ホワイトライナー付属の連結チューブ以外の管（吸引源からの排気管、患者側からの吸引管およびキャニスター間の接続管）は本品に含まれない。

2. 構成

本品は、下記構成部品からなる。

①キャニスター、②ライナー

①キャニスター

	容量 (cc)
キャニスター	1000
	1500
	2000
	3000

②ライナー

	容量 (cc)	フィルター	凝固剤
ホワイト	2000	無	無
			有
	3000	無	無
			有
アクア	1000	有	無
			有
	1500	有	無
			有
	2000	有	無
			有
	3000	有	無
			有

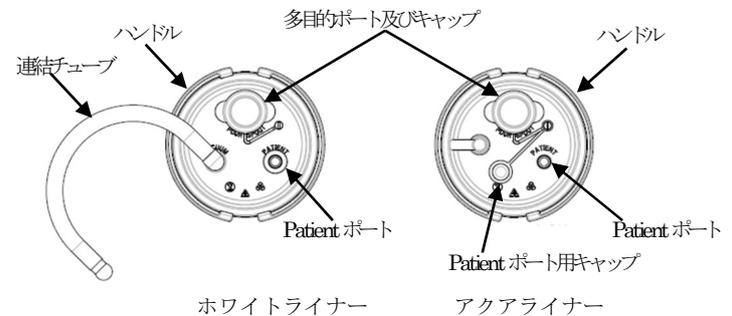
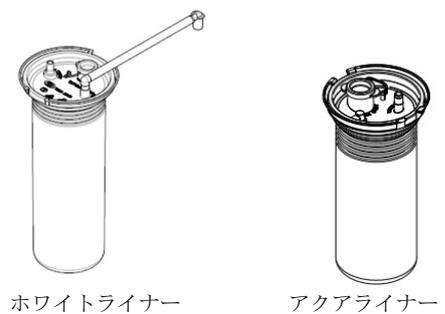
3. 形状

本品は、症例・術式等により、形状・サイズが異なる品種が存在する。主な形状を以下に示す。

①キャニスター



②ライナー



4. 原理

吸引源から導入された陰圧により、ライナー及びキャニスター内が陰圧となることで排液を吸引する。排液がフィルターに接触すると空気および液体の通路を閉鎖し吸引停止する。

【使用目的又は効果】

本品は、血液や体液等の排液を回収のために吸引器とともに使用する器具である。

【使用方法等】

1. 単独使用の場合

- 1) キャニスターと同じ容量のアクアライナーを用意し、折りたたまれた状態から十分に伸ばす。
- 2) キャニスターのチューブ接続口に排気管を吸引源へ接続し吸引を開始した後、ライナーをキャニスターに挿入する。この時、ライナーの Patient ポートを指で塞ぎながら蓋を軽く押さえるとライナーの蓋が吸着する。
- 3) Patient ポートに患者側からの吸引管を接続し排液の吸引を開始する。

- 4) 排液の吸引終了後、他の凝固剤を使用する場合は吸引ONの状態が多目的ポートから投入したのち、再び多目的ポート用キャップで蓋をする。
- 5) 吸引管をPatientポートからはずしたあと、Patientポート用キャップでライナーを完全に密閉したのちに吸引を停止する。
- 6) 排液が凝固したことを確認したあと、ライナーのハンドルを掴んでキャニスターから取り外し、院内の処理規定に従い廃棄する。

2. 連結使用の場合

- 1) 必要数のライナーを用意し、折りたたまれた状態から十分に伸ばす。そのうちの1つはアクアライナー、残りをホワイトライナーの構成となるようにする。
- 2) 用意したライナーをキャニスターに挿入する。
- 3) ホワイトライナーの連結チューブを直列（患者側→ホワイト→・・・→アクア→吸引源側）となるようPatientポートに接続する。
- 4) キャニスター間をライナーと同じ順でチューブを連結する。
- 5) キャニスターのチューブ接続口に排気管を吸引源へ接続し吸引を開始した後、空いているPatientポートを指で塞ぎながらそれぞれの蓋を軽く押さえるとライナーの蓋が吸着する。
- 6) 空いているPatientポートに患者側からの吸引管を接続し排液の吸引を開始する。
- 7) 排液の吸引終了後、他の凝固剤を使用する場合は吸引ONの状態凝固剤を多目的ポートから投入したのち、再び多目的ポート用キャップで蓋をする。
- 8) 吸引管をPatientポートからはずした後、アクアライナーのPatientポートに接続されている連結チューブをはずしPatientポート用キャップで密閉する。続いて、吸引源側から順に連結チューブをはずし、自身のPatientポートに接続してすべてのライナーを密閉したのち、吸引を停止する。
- 9) 吸引源からの排気管内を大気圧に戻すと、ライナーが浮き上がりキャニスターからはずれる。
- 10) 排液が凝固したことを確認したあと、ライナーのハンドルを掴んでキャニスターから取り外し、院内の処理規定に従い廃棄する。



注) ホワイトライナー付属の連結チューブ以外の管は本品に含まれない

接続例

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

1. 本品を取扱う場合には、ゴム手袋、マスク、ゴーグル等の保護具を必ず着用すること。また周囲環境の汚染に注意すること。
[排液が飛散する恐れがある]
2. 本品を設置する時には、傾斜、振動、衝撃などを考慮すること。
3. 使用前にレギュレーター及びキャニスター並びに各ホースや先端具等の接続状態、更に医療ガス配管設備との接続状態の点検を行い、本品が正常に作動することを確認すること。
4. 使用する流量及び圧力に関しては、術法、対象部位、大きさ、患者の体格と年齢、使用者の経験及び技法を勘案して行うこと。

5. アクアライナーのフィルターに排液が接触し吸引が停止した場合、そのまま放置せず速やかにすべてのライナーを適切に交換し処理すること。[継続的な高陰圧の負荷により破損の恐れがある]
6. 使用後はライナーのPatientポートを確実に密閉すること。
7. 凝固剤の注入およびライナーの密閉処理を行う場合は、必ず吸引を継続した状態で行うこと。[吸引した排液が逆流する可能性がある]
8. 使用後、排液が貯留されているライナーを持ち運ぶ際には2つのハンドルを持つこと。

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

1. 水のかからない場所に保管すること。
2. 湿気やほこり、塵のある場所を避け保管すること。
3. 直射日光当たる場所や、高湿度の場所を避け、常温で保管すること。
4. 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）等安定状態に注意すること。
5. 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

<使用期限>

ライナー（凝固剤無）：3年
ライナー（凝固剤有）：2年

<耐用期間>

キャニスター：5年

【取扱い上の注意】

1. 本品に、転倒及び落下などの衝撃を加えないこと。
2. 包装を開梱するときは、カッターナイフなど鋭利なものを使用しないこと。

【保守・点検に係る事項】

1. しばらく使用せずに再使用する時は、使用前に必ず正常かつ安全に作動することを確認すること。
2. キャニスターを洗浄・消毒、滅菌、点検を行う際は以下にて行うこと。
洗浄・消毒：アルコール（75%）にて行うこと。
滅菌：オートクレーブ（121℃、15分）にて行うこと。
（最大30回まで）
点検：破損や変形などがある場合は、破棄し新しい製品と交換すること

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：エア・ウォーター防災株式会社

外国製造業者：YUNG KANG MEDICAL DEVICE & TECHNOLOGIC Co., LTD.
国 名：台湾